

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—		
事業毎の通番		10	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	辺尾(へび)		
事業概要	事業目的	平成24年3月に県道川口大町線で落石被害が発生した。落石発生源は受け盤の岩塊が幾層も見られ、下方林内にも落下途中で破碎された転石が散在し、放置すると再度県道への落石被害が発生し、通行車両や道路などが被災する危険性が高いため、落石防止対策工事を実施したい。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等	特になし						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	県道 300m						
	着手年度	平成28年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.18	国庫	91,500	県債	82,350
	全体事業内容(主な工種)	落石予防工345m ² 、落石緩衝柵工128m			183,000	91,500	82,350	9,150
年度事業内容(主な工種)	落石予防工345m ²			36,000	18,000	16,200	1,800	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	県道の保全						
	間接的効果(定量的・定性的)	地域住民のライフラインの保全						
評価の視点	必要性	○人家戸数:	なし				評価	
		○公共施設数:	県道川口大町線					
	○災害時要援護者関連施設の有無:	なし				C		
	○保安林・林業用施設:	保安林あり(100%)						
	重要性	○過去の災害履歴:	平成24年3月				評価	
		○交通遮断による地域経済への影響:	県道川口大町線					
○地域防災計画上の位置付け:		大町市地域防災計画(災害予防計画)として位置付けあり						
効率性	○費用便益比(B/C):	1.18				評価		
	○事業期間:	4年間(H28~31)						
	○工法等の比較検討:	比較検討済み						
	○流域の総合調整:	県道管理者と調整済						
緊急性	○流域の地形、地質:	第3紀層				評価		
	○平均渓床勾配(平均山腹勾配):	64°						
	○下流の堰堤等の整備状況:	施設なし						
	○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域:	山地災害危険地区Bランク1、土砂災害防止法指定なし						
計画熟度	○事業情報の共有:	大町市に周知済				評価		
	○地域の取り組み:	大町市から要望あり						
	○地域の合意形成:	事業目的について大町市、県道管理者と合意形成が図られている						
	○住民との協働:	山地防災ヘルパ [®] による施設点検の実施						
部意見	調査の結果、不安定な転石や岩石群が判明したため、対策工事を行う必要がある。	行政改革課意見	落石の発生を受けて実施した現地調査により不安定な転石や岩石群が判明しており、重要性が高く、緊急性も認められる。		評価結果	総合評価		
				○	B			

位置図

長野市(信州新町)
大町市(八坂)

平面図

① 落石発生源
受盤の岩塊が幾層も見られる

② 県道落石被災状況

③ 林内に転石が散在

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成24年3月、落石により県道施設が被災したため、落石発生源の対策要望があり、大町市や県道管理者(大町建設事務所)と現地調査を行った。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年6月に大町市から要望あり
③事業説明等の経緯	平成27年5月1日に大町市へ公共治山事業計画を立て、合意を得た。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	県道の落石防護施設は平成26年度に補修済。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	落石防護網工の施工は、重機搬入や掘削がないため、自然環境の変更がなく施工できる。これにより、落石対策斜面と県道との間にある森林の維持造成が図られる。
⑥地域活性化への影響と配慮	保全対象の県道は大町市街地と国道19号を結ぶ主要なライフラインであるのみならず、沿線の観光地へのアクセスに欠かせない。
⑦その他	

事業周辺環境

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 31' 50"
	東経:E 137° 55' 10"